

# Rebuilding 1

## 教育が動く！

小学生の集客は、  
教育と経営を変えます。

Let's challenge !

学習指導要領が変われば  
塾に求められる教育が変わります

詰込み教育 系統だった学習  
〔知識の詰込み〕

**スパルタ式一斉指導**

ゆとり教育 最低基準のカリキュラム  
〔学力補完〕

**質問呼応型個別指導**

生きる力教育 国家の危機を救う  
中学教科書改定 大学入学共通テスト WWL  
コンソーシアム 教育再生実行会議第 11 次提言  
〔有用な人材の育成〕

**グローバルリーダーの育成**

### 時代が変われば、教育は変わります。

教育が変われば、塾に求められる教育は必ず変わります。わが国は、次世代の経済や産業の中心となる AI や IoT の研究や普及で大きく出遅れ、経済大国の地位が危うくなっています。

それゆえ、文科省は、生きる力教育の目的を「ゆとり教育のために低下した学力の再生」から「国家にとって有用な人材〔グローバルリーダー〕の育成」に舵を切りました。そして、教科書の改訂や大学入試の変更など中高生を対象に色々な改革を始めましたが、最低基準に合わせた横並びの義務教育を持つ公教育では、その教育の目的を果たすことはできません。

生きる力の教育の目的の実現は、これまでの学習指導要領の時と同様に、塾に委ねられます。

したがって、生きる力教育時代に、塾に求められるのは、文科省に代わって時代が希求する「リーダー育成のための教育」です。ただし、切り替えはこれまでと同じで徐々に進行します。

それと、グローバルリーダーの育成は、これまでの知識の詰込みや学力補完ではありません。人を育む教育です。したがって、人格や人間性がほとんど完成した、これまで塾の教育のメイン対象であった中高生から取り組むでは遅すぎます。グローバルリーダーの育成を始めるなら「学び」と「人」の根っこを育む幼児から、それが難しいなら遅くとも、まだ修正が効く小学生からです。

### 塾の市場規模は、ますます縮小するでしょう。

少子化とゆとり教育による学習離れ、そして昨年の緊急事態宣言の長期休校による学習の軽視により、塾の需要は益々減少すると思われます。実際、今春の生徒募集は、以前にもまして苦戦されたところが多かったと聞きます。

確かに学力補完の市場規模は、縮小するでしょうが、逆にわが子に、学力を個性とし未来を切り拓かせようとする保護者層は、時代の要請に応じて、より高度な教育を求めてきます。この層は、教育投資を理解しますから、その期待に応えることのできる教室を作ることができれば、ブラックと呼ばれ始めたこの業界を、有能な人材の集まるホワイト企業に変えることができます。

### 塾の再建は、小学生をメインに！

小学生の飛び級による「できる生徒の通う塾」のブランディングには、2年から3年の時間を要します。それまでを支えるためには、既存中高生の指導は、特別に高い志をもつ生徒にはスーパー教育®コースのご提案をされるのも良いですが、これまで通りの学校準拠の指導に注力されてください。また、一方で小学生には、保護者に口コミを誘発させる「わが子は、特別！」の思いを抱かせる飛び級を積極的に仕掛け、生徒を集めます。そのことも達が、中学校に進学した時に、わが子の未来を教育に掛ける保護者が求める教室のブランディングが確立できます。





# スーパー教育® (小学部) コースを創る

## Step 1. 大義と使命感を持つ

時代(国)は、人がつくる。その人は、教育でつくられる。



人は、幾つになっても自己尊厳を持ちたい動物です。だから、やっていることに大義名分のあることであれば心から喜んで向き合うことができます。よって、大義の下には献身的な努力が生まれ、そして、人が集まります。塾の場合、その人は、生徒であり保護者であり、そして有能なスタッフです。

知識の詰込みや補完に終始したこれまでの教育と違って、将来この国を背負うリーダーを育むスーパー教育®には、「この国の未来を切り拓く」という人を惹きつける大義があります。スーパー教育®小学生コースの開設と運営にあたっては、そのことを理解され、使命感をもって凍として臨まれてください。

また、中高生を主対象とされてきた教室にとって、不慣れな小学生の指導であっても、「これは、やりがいのある仕事である」ことを自覚することからホワイト企業への第一歩を踏み出しましょう。

## Step 2. 強みを知る

スーパー教育®の最大の「強み」は、圧倒的な学力を生み出す3学年以上の①「スーパー飛び級®」や人件費比率を軽減し学びの習得効率を高める②「自読考®」や学びの本能『敏感期』を活かし本格的な国語・算数の学びを実現する③「幼児教育」ではありません。スーパー教育®の最大の「強み」は、それらを実現するスーパー教育®選定教材です。

中でも、算数Tおよび国語Tは、元々は保護者の寄り添いがあれば、一切の教授を必要としないで、子どもが自分の力で学びを進めることができる家庭用の完全自立学習教材です。このような教材を持つ塾は、他にはありません。

このまったく教えることを必要としない上に、最終的に私立中学受験の力までを自分で習得させる教材をプロの知育教育の指導者が手にすることで、これまでとは次元の異なる教育効果と安定した経営を実現することができます。

## Step 3. 募集要項

質問応答型のゆとり時代の個別指導と違って、圧倒的な学力の育成が必須のリーダー教育では、スーパー飛び級®が必然となります。そのために、「毎日、学ぶ!」など十分な時間の確保を前提とした募集要項の作成が必要です。

また、リーダー教育の理解そして切り替えは、まずは、その恩恵を知る現時点ではお受験や中学受験を検討する家庭層からです。この層は、その商品価値をその価格やブランドでみる傾向にあります。よって、地域トップ高校の名前や難関国立大学や国立大学医学部進学の名前を冠したコースを掲げるなどパッケージの工夫や多少高めの金額設定が必要です。

## Step 4. 小学生を集める①【身の回りを丹念に攻める】

スーパー教育®の教育理念は、時代を先取りしています。そのために、市場(保護者)に認知を上げるには困難を伴います。チラシでは、ほとんど効果は期待できません。まずは、既存生の保護者や知人・友人や親類縁者を頼って小学生の紹介や体験学習の集客を依頼するなど身近なところから攻めます。

特に、そろばん、英会話、プログラム、ロボットなどの児童対象の教室を併設されているのであれば、そこに通うこどもの保護者に「これまで鍛錬された右脳(頭脳)やスキルを活かし、未来を切り拓く本格的な国語・算数の学習を実現するスーパー教育®」を提案されてください。

## Step 5. 小学生を集める②【授業を起点として、教育投資と口コミを誘発する】

保護者の積極的な教育投資と口コミを引き出すには、以下の2点が必要です。この2点が実現できれば、わが子の成長の嬉しさと教室を紹介してもきっと相手に喜んでいただけるという安心感が、口コミを誘発してくれます。

- ① 3学年以上の先取り学習スーパー飛び級®を実現させ、保護者に「わが子は、特別!」の思いを抱かせること。
- ② スーパー教材と自読考でつくる肯定的な言葉のシャワーにより自分の行動や存在が認められ、また、「必ずできる」と本気で信じて貰えるこどもにとって居心地の良い毎日通いたくなる学習環境。

## Step 6. 小学生を集める③【積極的に外部にアピールする】

個別教育相談 / 小規模なスーパー教育®説明会 / SNSによる発信

保護者は、難関国立大学などのハイレベルな学歴の取得法や現教育が最低基準に合わせたものであることを知りません。また、わが国がAIやIoTの研究開発で大幅に出遅れ経済大国としての地位が危うくなりそのために教育が動き始めたことや先が見通せない時代を生き抜くのに必要な苦境を支える確かな信頼関係を育むわが子との向き合い方も知りません。

保護者は、わが子の輝く未来を切り拓き、学びを介した「新たな親子の絆」をつくるスーパー教育®を待っています。口コミを誘発する実績ができるまでは、こまめな個別教育相談や小規模な説明会、そしてSNS等により啓発を続けます。

